

「男女共同参画推進に関する市民アンケート」

ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、平成17年に策定したあわら男女共同参画プランの計画期間の満了に伴う見直し作業を進めています。

そこで、市民の皆様の男女共同参画に関するお考えや実態などを把握し、第2次あわら男女共同参画プラン策定の基礎資料とするため、標記アンケート調査を実施することといたしました。（男女共同参画社会については、裏面をご覧ください。）

この調査は、無作為に抽出したあわら市にお住まいの20歳以上の方に御回答をお願いするものです。調査は無記名でお答えいただき、皆様からの御回答は統計的に処理いたします。この調査票に記載された事項については、調査以外の目的には使用いたしません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年7月

あわら市

《ご記入にあたってのお願い》

1. この調査は、あて名のご本人が、ご自分のお考えでご記入ください。
2. 調査票に直接、鉛筆やボールペンなどではっきりとご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を選び、その番号に 印をつけてください。
印の数は、質問中の指示に従ってください。
4. 「その他」を選ばれた場合は、できるだけ具体的内容を（ ）内にご記入ください。

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに7月18日（金）までに郵便ポストへご投函ください。

この調査についての問合せ

あわら市総務課男女共同参画推進室 電話:0776-73-8003 ,メール:danjyo@city.awara.lg.jp
担当:江守、辻

アンケート調査票

問1 あなたの性別は、どちらですか。

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢は、どの区分にあてはまりますか。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問3 あなたには、配偶者はいますか（配偶者には婚姻届を提出していない事実婚を含みます）。

- 1 いる 2 いない

問4 あなたには、お子さんはいますか。

- 1 いる 2 いない

問5 住んでいる地区

- 1 温泉地区 2 山方・里方地区 3 本荘地区 4 新郷地区
5 北潟・浜坂地区 6 波松地区 7 金津地区 8 伊井地区
9 坪江地区 10 劔岳地区 11 細呂木地区 12 吉崎地区

問6 家族構成

- 1 二世帯同居（親と子ども） 2 三世帯同居（祖父母と若夫婦と孫）
3 夫婦のみ 4 一人暮らし 5 その他〔 〕

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から一つ選んでください。

- 1 賛成 2 どちらかといえば賛成 3 どちらかといえば反対
4 反対 5 わからない

問8 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Gの項目について、あなたの気持ちに一番近いものを一つ選び（1～6に）をつけてください。

		男性が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない
A	家庭生活では	1	2	3	4	5	6
B	職場では	1	2	3	4	5	6
C	学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
D	政治の場では	1	2	3	4	5	6
E	地域活動では	1	2	3	4	5	6
F	法律や制度では	1	2	3	4	5	6
G	しきたりや慣習では	1	2	3	4	5	6

問9 しきたりや慣習についてお伺いします。あなたの住んでいるところで男性と女性を差別するよ
うなしきたりや慣習はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 地域の方針決定は男性(または女性)だけの場で行われている。
- 2 地域の奉仕作業は男性(または女性)だけが参加するのが当たり前になっている。
- 3 地域の祭事などで女性禁制(または男性禁制)のものがある。
- 4 地域活動での集金は女性(または男性)が行うのが当たり前になっている。
- 5 地域の共同作業等における女性の参加に対して、出不足料()を支払う場合がある。
(出不足料・・・労働力の不足分として徴収される金銭)
- 6 その他(下記にできるだけ具体的に記入ください)

問9-2 あなたは「家庭内において」女性または男性が優遇されていると感じるしきたりや慣習を見聞きしたことはありますか。ある場合は、できるだけ具体的にお答えください。

問9-3 あなたは「職場において」女性または男性が優遇されていると感じるしきたりや慣習を見聞きしたことはありますか。ある場合は、できるだけ具体的にお答えください。

問10 あなたは、次にあげるような家庭内の仕事をどの程度されていますか。それぞれについて一つ
選び(1~4に)をつけてください。

		いつもする	ときどきする	ほとんどしない	まったくしない
A	食事の用意	1	2	3	4
B	食事の後片付け	1	2	3	4
C	掃除	1	2	3	4
D	洗濯	1	2	3	4
E	日常の買い物	1	2	3	4
F	ゴミ出し	1	2	3	4
G	家の管理	1	2	3	4
H	家計のやりくり	1	2	3	4
I	財産管理	1	2	3	4
J	自治会活動への参加	1	2	3	4
以下は該当される方のみ回答ください					
K	育児(乳幼児の世話)	1	2	3	4
L	子どものしつけや教育	1	2	3	4
M	P T A活動、子ども会	1	2	3	4
N	看護や介護	1	2	3	4

問11 あなたは一般的に女性が職業を持つことについて、どのようにお考えですか。次の中から一つ選んでください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持ち、結婚後は離職して家事に専念するほうがよい
- 3 子どもができるまでは職業を持ち、出産後は離職し家事や育児に専念するほうがよい
- 4 結婚または出産で離職し、子どもが大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- 5 結婚・出産後は家事・育児に支障のない職業にかえるほうがよい
- 6 結婚・出産に関わらず職業を継続するほうがよい
- 7 その他〔 〕
- 8 わからない

問12 問11で3～7を選んだ方にお伺いします。あなたは女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 就職情報や紹介などの相談機関の充実
- 2 技能修得のための研修の機会や施設の充実
- 3 労働時間の短縮化、フレックスタイム制の導入
- 4 保育施設や育児相談の充実
- 5 育児休業・介護休業制度の徹底
- 6 放課後児童クラブ等の教育施設の充実
- 7 高齢者や障がい者などの介護サービスの充実
- 8 パートナー（男性）の理解や家事・育児などへの参加
- 9 パートナー（男性）以外の家族の理解や家事・育児などへの参加
- 10 女性自身の働くことに対する自覚
- 11 その他〔 〕
- 12 必要なことはない

問13 あなたがもし、体が不自由になったり、寝たきりになった場合、主にどなたに介護を頼みたいと思えますか。次の中から一つ選んでください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 配偶者 | 2 息子 |
| 3 娘 | 4 息子の配偶者 |
| 5 子どもたち全員 | 6 その他の家族や親戚 |
| 7 ホームヘルパーなどの訪問介護サービスの利用 | 8 特別養護ホームなどの施設に入る |
| 9 近所の人、友人、知人に看てもらう | 10 わからない |
| 11 その他〔 〕 | |

